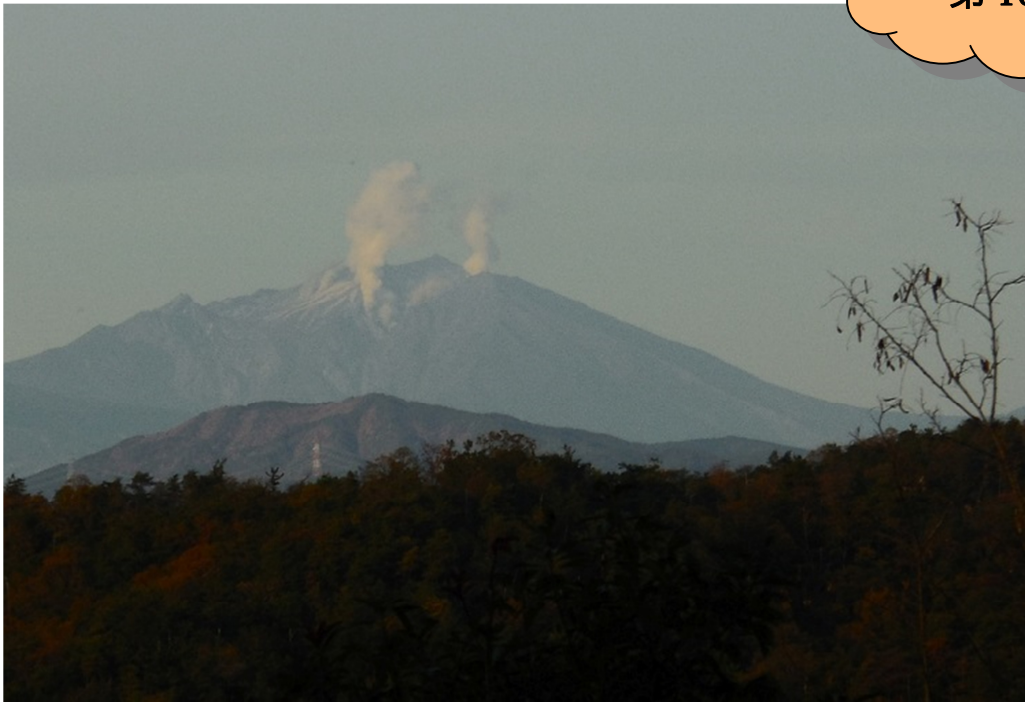


中部環境計量士会だより

2014年12月9日発行

第16号



(噴煙を上げる御嶽山)

かつて、御嶽山は死火山と思われていた位で、噴火の足跡は地質学的資料でしか詳しいことは分かりません。地質学的には、8万年前ぐらいからのマグマ噴火により現在の御嶽山火山群が形成され、過去1万年間に複数回のマグマ噴火が発生していることが分かっています。

今回のような水蒸気噴火はそれ以後、数百年に1回の割合で、堆積物として残る規模のものが発生しています。観測記録では1979年の水蒸気噴火が最初で、以後1991年、2007年、そして今回が4回目です。しかしながら、それぞれの噴火の規模や継続期間もまちまちで、御嶽火山の特性を把握するには不十分です。ただし、気になるのは1979年の水蒸気噴火から5年後、御嶽山中腹を震源とする長野県西部地震が起こっており、地震との関係が要注意と思われます。

(写真と文：吉田会員)

1 最近実施した行事

【見学会】 (参加者15名)

日 時：平成26年11月7日(金)

場 所： あいち臨空新エネルギー実証研究エリア
中部国際空港エネルギーセンター

2 今後の行事予定

講演会・勉強会

日 時：平成 27 年 2 月 14 日（土） 14 時 00 分～17 時

場 所：大同特殊鋼(株)健保会館

例年総会終了後開催している講演会は、演者の都合により中止となりましたので、今年度は「講演会・勉強会」として講演をお願いしています。

《講演会》

演 者：林 農 氏（（公財）名古屋産業科学研究所 上席研究員）、元名古屋大学客員教授、鳥取大学名誉教授

演 題：「地球環境問題と風力発電」

《勉強会》

話題提供者を募集しています。話題は、環境に関するもの、自分の業務に関係するものなら何でも結構です。

詳しくは阪野（banno1351310@zm.commufa.jp）までお問い合わせください。）

□⇒ 勉強会の後、恒例の親睦会が予定されています。多数の参加をお待ちしています。鍋を囲んで楽しく情報交換しましょう。

役員会 平成 27 年 3 月 14 日（土）健保会館にて 14：00 から

2015 年度総会・講演会

平成 27 年 5 月中旬を予定しています。

3 最近の環境関係法令等の動き

要調査項目リストの改訂

（平成 26 年 3 月 31 日 環境省水環境課長通知）

人の健康や水生生物に有害なおそれがあるものの環境リスクが比較的大きくない、または環境リスクが不明であるが環境中の検出状況等からみて環境リスクの知見の集積が必要な項目として、「要調査項目」として 300 項目選定し、調査を進めてきたが、今般、要調査項目リストを見直し、人の健康に係る項目 137 項目、水生生物への影響に係る項目 105 項目、両方に該当する項目 34 項目、合計 208 項目を新たな要調査項目として選定

水質汚濁防止法施行規則等の一部を改正する省令

（平成 26 年 11 月 4 日 環境省令第 30 号）

- ・カドミウム及びその化合物について、水質汚濁防止法第 14 条の 3 第 1 項に基づく地下水の浄化措置命令に関する浄化基準の値を従前の 0.01mg/L から 0.003mg/L に変更
- ・カドミウム及びその化合物について、水質汚濁防止法第 3 条第 1 項に基づく排水基準（以下「一般排水基準」という。）の値を、従前の 0.1mg/L から 0.03mg/L に変更
- ・一般排水基準に対応することが著しく困難な 4 業種に属する特定事業場に対して暫

定排水基準を設定

水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件及び地下水の水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件

(平成26年11月17日 環境省告示第126号及び第127号)

中央環境審議会水質部会の答申を踏まえて、水質環境基準健康項目のトリクロロエチレンの基準値を、現行の「0.03mg/L以下」から「0.01mg/L以下」とした。

測定方法：従来どおり「JIS K0125の5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法

評価方法：年間の総検体の測定値の平均値を新基準値(0.01mg/L以下)に照らして評価

4 会員欄

(会のHP更新作業を担当していただいている鈴木_全会員の奮闘記です。)

昨年から今年初めにかけて、会のホームページの更新が遅れ気味だと指摘されていました。今まで担当されていた方が退会され、残った会員の中でそこまで知識のある人が見つからなかったこともひとつの要因のようでした。ホームページは「会だより」や「会誌」とともに会員同士を結ぶ有力な手段ですが、それ以外にも活動を広く世間に発信する役割を持っています。ホームページを見て入会したという若い会員の方もいらっしゃいます。これからはますますホームページの重要性が高まってくるのではないかと、そのためには、これをより見やすく、魅力あるものにしてゆく必要があるのではないかと日頃思っていました。そんな折、同居している20代の娘、息子が、所属するグループのホームページを運営していたので聞いてみたところ、「新しいものをつくるのは大変だけど、更新するだけならそんなに難しくはないよ。」と言われ、スマホなど持っていないし、アプリと言われても、「スマホのサブリ？」程度の知識しかないのに、好奇心も手伝ってやってみようという気になりました。早速、前任者から引き継ぎを受け、「ホームページビルダー」を入手、息子の手を借りながら更新作業に取りかかりました。できあがったホームページを見て、「おお！こんなに簡単なことだったのか！」と新しく開けた世界の感動に浸りつつ、調子に乗っていじっていると、段落がガタガタになり、收拾がつかなくなって、また、息子に助け船。「どうもこれはHTMLをいじらにゃあ、いかなあ。」と言われ、昔懐かしいBASICのような文字列をいじること数分、あっという間に形の整ったものができあがった。「こりゃ、ラーメンでもおごらにゃいかん。」と思いつつも、「息子にできることがオレにできないわけではない。」と今度は「HTML&CSSの基本」という本買ってきてHTMLをいじりだすと、これがまたなかなか面白い。ところがやがて、線一本引くのに丸々一日、写真を挿入するに半日と時間ばかりがかかり、「こんなことで、ただでさえ残り少ない人生の貴重な時間を費やしていいのか？」という哲学的かつ素朴な疑問が湧いてきた。しかし、まあどうせ親の介護であまり外出もできないことだし、認知症の予防にはいいか、と気を取り直した。元々デザインセンスなど全くないのに、字が一字でもずれていると気になる性格なので、心が落ち着かない。そうかといってしっかり修正する能力、気力、体力がいかにせん不足している。当会と同程度規模の会でも、多くはホームページ委

員会を持っています。そのためにも、一緒にやっていただける方がいれば心強いです。気がついた点など、どしどし指摘していただき、少しでもよいホームページにしてゆけたらと思っている今日この頃です。

発行 中部環境計量士会編集委員会（責任者 石川 創）
〒460-0022 名古屋市中区金山 1-2-4 アイデイ・エリア 405 号
（一社）愛知県環境測定分析協会内
中部環境計量士会 Tel 052-321-3803
HP <http://www.c-kankyoushikai.com/>